

安心とつるおの、下町川の手をめがけて



No. 49

# 防災 まちづくり瓦版

発行／一寺言問を防災のまちにする会

平成14年12月10日

いちてらこととい  
**一寺言問／防災まちづくり瓦版**  
 編集／一寺言問を防災のまちにする会・編集局  
 発行／一寺言問を防災のまちにする会  
 代表 則武 勝商  
 連絡先／墨田区まちづくり推進課内  
 〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel(5608)6261

一言地区とは、向島五丁目、東向島一丁目、同三丁目、堤通一丁目全域のことです。地区内の一寺小と言問小の名をとり、「一言会」(正式には一寺言問を防災のまちにする会)と名付け、住民主導の防災活動を、十七年余にわたって続けています。

一九八五(昭和六十)年に、東京都の防災モデル地区としてスタートした「一言地区」は、平成九年には「第一回防災まちづくり大賞」で自治大臣賞(大賞)を受けました。さらに、地域住民のコミュニケーション(対話や交流)の厚さが、防災面だけでなく多くの住民の日常活動の模範とされ、今や、各種の芸術や学術、文化活動などの「情報の集中と発信の中心基地」として、新しい発展を示しつつあります。

「瓦版第四九号」は、一言集会所(東向島一の一)を中心に繰りひろげられている「文化活動」その他をご紹介します。

## 下町文化の発信基地 —寺言問地区に各地が注目

◇千葉県幕張市の「住みよい幕張を考える会」は、五月九日に約三十名で一言地区を訪れ、機関紙「馬加(まか)通信」の創刊号(今年五月発行)では、「一言地区見学記」をほぼ全面(四ページ中三ページ)で取り上げ、「幕張駅前の三角地活用」などのユニークな活動への参考としています。

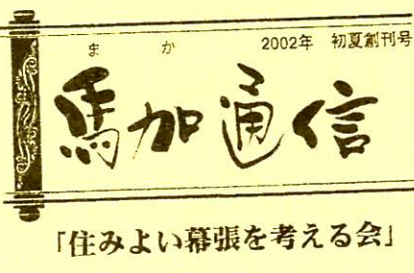
◇六月には、なんとマレーシア政府から派遣された二十名の若い役人さんが、日本の下町から「国づくり」「人づくり」を学ぼうと一言地区へやってきました。

◇同アジアの先進地区・日本の「下町」に学んで、新しい「国」を創ろうとするかの国の先駆者たちの気概に、少なからず圧倒されるひと時でありました。

◇神奈川県藤沢市からは、地域の防災だけでなく、旧住民と新住民の融和などのテーマを掲げて、長後地区(昨年秋)と明治地区(十一月)の二つの防災まちづくり団体が、別々に来訪されました。

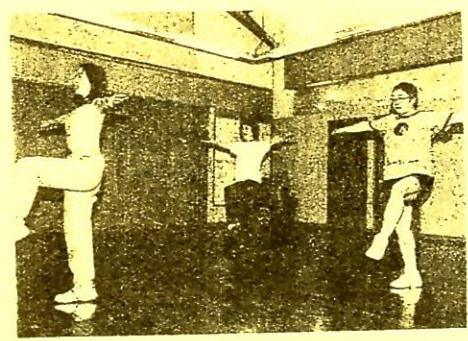
◇いわゆる新開地の人々の、一言地区の歴史や実績に学ぼうという姿勢には、こちらも襟を正すことが多々あります。

(別掲見学団体一覧表をご参照ください)



**楽しいサークル活動**  
 一寺言問集会所は、さまざまなお楽しみ活動にも利用(すみませんけれど有料です)されています。

これらの活動に参加されたい方、集会所を利用したい方などは、一言会理事の萩原昭作(東向島一の一八 萩原商事)さんまでお申し越しください。



【写真①】

◇火・木曜の夜は、エアロビクスでシェイプアップ。若さと健康は、下町のバイタリティ(活力)のもと。集会所の大きな鏡も大いに役立っています。【写真①】



【写真②】

◇第二・第四日曜には、年少少女の「剛柔流空手」の道場となります。

師範の裂はく(はく)の気合いと、生徒さん達の応ずる気合いが集会所に響くさまは、一見の価値があります。小学生から大人まで、男女を問わず入門できます。【写真②】

◇十一月二十四日には、新日本フィルハーモニーのメンバーであり、一言地区(向島五)に住む中谷孝哉・幸子さんご夫妻による「マリンバ演奏会」も開かれました。【写真③】



【写真③】

コンサートを知ったという、遠方から訪れた方々も含めて約五十名が耳を傾ける中、日本やアジアの民謡、今人気の大きな古時計、人気アニメ千と千尋のテーマ、ラ・クンパルシータ、剣の舞などバラエティに富んだ東西の名曲の優雅な調べが、秋の下町向島に流れました。

**地区外へ防災ノウハウ伝授**  
 十一月十六・十七日、板橋区で「安全安心まちづくりワークショップ」が開催され、一言会理事の佐原滋元さんが「防災とコミュニティ地域福祉」の分科会で、わが地区の活動と成果の報告を行いました。

向島の濃密な人間関係に裏打ちされた「防災には隣近所との交流と相互理解が必要」という一言地区の発表は、六十を超える参加団体への大きな提言となりました。

**住まいの  
下町アンケート**  
 この夏、一言集会所を研究基地として、早稲田大学と東京理科大学の学生さんによる「住まいの研究」が展開されました。

七月から八月にかけて、主としてマンションに住む方の、住まいに関する意識調査を中心とするアンケートなどが行われ、十月二十七日には、建築や下町研究者を集めて、キラキラ会館(京島三)で「研究発表会」を実施しました。

**続々訪れる見学団体**  
 路地尊・有季園・会古路地などユニークな施設を開発した「防災先進地区」である一言地区には、全国各地の防災まちづくり団体が見学に来ます。

・牛島神社例大祭

9月13日、牛島神社の例大祭で、鳳輦神幸とともに、はじめての稚児行列のお練りがありました。可愛い稚児達が未来のまちの担い手として成長することでしょう。



・宮元町会50周年

10月19日、宮元町会の50周年記念式典が山崎区長をはじめとしたお客様をお招きし、宮元町会音頭や地元の義常太鼓のアトラクションも賑やかに開催されました。



・地藏坂にキツネ出現

11月中旬から、一言地区や京島のまちで、様々なアートイベントが開かれました。地藏坂周辺では、近年移り住んだ若いアーティスト達が「ツママレ」と題した奇天烈なイベントで、縁日に集まった子どもたちを驚かしました。

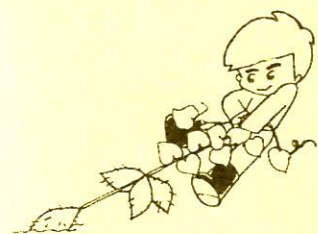


有季園は元気 大賑わいの収穫祭

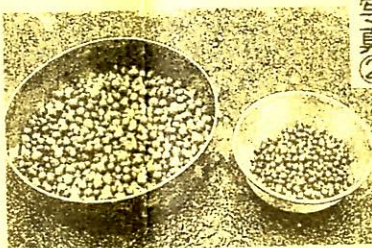
有季園（正式名称は防災小緑地・向島有季園（向島五の三五）の野菜とお花作りも、十四年目となりました。十一月二日には、毎年恒例の「楽しい収穫祭」が開かれました。

苦しかった半年を 振り返りつつ

十二ヶ所の菜園には、十二軒の利用者さんの愛情と苦心と、ちよっぴり苦難と、そして喜びの半年があります。特に今回は、初めての利用者さんが多く、とまどいの畑仕事だったようです。都会地の悩みであるビル風、地面の照り返し、日陰の問題に加えて、今年は七月に二回も台風に見舞われました。梅雨明けから八月にかけては、五十日を超え、炎暑の「連続真夏日新記録」までが追い討ちをかけてきました。しかし、その雨なし五九日間にも、路地尊三号基（貯水壘九ト）は耐え抜き



一言集会所さんら二十名ほどが集まり、利用者さんの奥様の心づくしである「芋煮会」を楽しみました。飛び入り参加の区役所の課長さん手作りの「魚の干物」の差し入れがあったりして、卓上は文字通り「山海の珍味」であふれました。



だからこそ嬉しい収穫祭

そして、見てください。おなじみのサツマイモやナス、キュウリの他にウコン（写真①のお嬢さんの足元）、山芋の実であるムカゴ（写真②）など、今年は珍しい収穫物も披露されました。野菜作りに関しては、たぶんアマチュアならではの大胆な挑戦が成功しているのでしょうか。将来、有季園はパイロットファーム（実験農場）の役割をはたすかもしれません。

写真②

お花を育ててみませんか

一言集会所（東向島一の二十）前の花壇を、あなたの花壇にお貸しします。



応募券

【利用期間】

平成十五年三月一日～平成十七年一月三十一日

【応募条件】

一寺言問地区（堤通一丁目、東向島一・三丁目、向島五丁目）にお住まいの方

【申し込み先】

〒131-0032

墨田区東向島一の十の十三

一言会会長 則武 勝商

【締め切り】

平成十五年一月三十一日（必着）

\*利用者は、次の事項を守ってください。

☆二年間、本人が責任を持って利用する

広場の名前も募集しています

一言集会所前の広場には

愛称がありませ

あなた名付け親になっ

てみませんか。

集会所の「愛称応募箱」に

いい名前を投函してください。

【締め切り】平成十五年一月三十一日



私も一言 その4

真野洋介

東京理科大学工学部助手



向島には建築・都市を勉強している多くの学生がまちをうろついている。かくいう私も向島の引力にひかれて一寺言問の町に入り込んだクチだ。この手の学生たちは、カメラや妙に詳しい地図を片手に持っており、同業者からみても不審なりをしている。

多くの学生は都市計画や建築の設計を勉強している。しかし今の建築や都市計画の世界では、今まで強力に個性や主張を出すことを良しとしていた「計画」や「デザイン」を過剰にせず、もとあるものを活かして変化を最小限にとどめることに新しい価値が見いだされている。特に若い世代にそれは顕著だ。「長屋・町家ブーム」や「レトロ建物ブーム」なんかは、まち場の人々にとってはいい迷惑ではないかと思うのだが、その場に今あるものを読み解いて価値を発見し、すこしづつ手をかけて自分になじむように環境を変えたり、自分や家族にあった家を探して住み替えたりするそのあり方は、これから先も住まいやまちづくりで根付いていくのではなかるか。

古い地図を集めて、まちの移り変わりをひもとく中で気づくことは多いし、こういった長年の歴史の積み重ねがまちの住み良さをかたちづけていると考えると、あらためて考えさせられることが多い。

そういったことを考えながら、さまざまな仕掛けを考えている。「建て替えデザインゲーム」なんか「まちのお宝活かしゲーム」などと名前を変えた方がよいのではないかと思う今日この頃。

いらっしやいませ 見学の皆様

8/1～9/10

大阪外国語大学 学生5人 向島留学

8/27 まちづくり教育研究会

9/23 東京LAMPO

11/5 神奈川県藤沢市明治地区

11/14 江戸東京フォーラム実行委員会

11/15 愛知県碧南市大浜地区

歩いて暮らせる街づくり委員会

12/6 長野県諏訪地方事務所

(平成14年7月～まちづくり事業部扱い)